

担任が全教科・領域にわたって指導を担当する現状を考慮し、各教科指導における相談的教師に関する研修内容を取り入れ、指導の際に生かせるように配慮した。

- ④ 中学校の講座については、教科などの専門性をより発揮するとともに、研修者の主体性を生かした研修内容も考慮し、教科の特性に応じて様々な方法を取り入れる工夫を図った。また、小学校同様、教育相談に関する共通の研修を行い、教科指導などにおける相談的な教師のあり方について理解を深め、教科内容の研修効果が日常の指導に一層結びつくように配慮した。
- ⑤ 高等学校の講座については、教育現場の現状に即して教科指導と生徒指導の調和・融合が図れるよう、生徒指導に関する内容の充実を図った。

## (2) 昭和60年度の研修講座数・研修定員

学校種別	講座数	講座開設回数	研修者定員	研修者延べ人員
小・中・高共通	8	18	250	589
小学校	14	30	584	602
中学校	15	27	438	474
高等学校	25	26	403	403
養護教育諸学校	—	—	18	27
合計	62	101	1,693	2,095

## 1 学校経営講座

### (1) 学校経営 (A) 講座

#### ① 期日・人員等

ア 6月3日～6月6日 8月26日～8月29日  
1月22日～1月25日

イ 小・中・高・盲・聾・養護学校の教頭 31名

#### ② 主な内容

- 学校経営の意義・機能・組織・運営
- 教育課程の経営、学校教育の課題
- 教育研究法と主題研究

#### ③ 主な講師

- お茶の水女子大学教授 河野重男
- 福島大学教授 菊池章夫
- 郡山女子大学短期大学部教授 長谷川壽郎
- 県立美術館長 原田實

### (2) 学校経営 (B) 講座

#### ① 期日・人員等

ア 6月24日～6月27日 9月17日～9月20日  
2月3日～2月6日

イ 小・中・高・盲・聾・養護学校の教務主任等 31名

#### ② 主な内容

- 学校経営、学年・学級経営の意義・機能・組織
- 校内研修の組織・運営、教育課程の評価
- 教育研究法と主題研究

#### ③ 主な講師

- 国立教育研究所企画室長 牧昌見
- 福島大学教授 菊池章夫
- 清泉女子大学教授 岩下新太郎
- 郡山女子大学短期大学部教授 長谷川壽郎

## 2 教育研究法講座

### ① 期日・人員等

ア 前期 6月17日～6月20日 伊 小・中・高教員の研修主任等の研修主任等  
中期 9月9日～9月12日 36名  
後期 1月27日～1月30日

### ② 主な内容

- 教育研究法概論
- 教育研究の進め方及び研究相談
- 学校教育を取り巻く諸問題
- 自己教育力を育てる授業の創造
- 教育と教師
- 研究報告会

### ③ 主な講師

- 岩手大学教授 駒林邦男
- 郡山女子大学短期大学部教授 長谷川壽郎

## 3 生徒指導講座

### (1) 中・高生徒指導講座

#### ① 期日・人員等

ア 前期 7月1日～7月4日  
後期 11月5日～11月7日

イ 中・高校教員 51名 (中25名、高26名)

#### ② 主な内容

- 問題行動を生み出す心理的背景
- 人格形成と生徒指導
- 生徒指導と学習指導
- 当面する生徒指導の問題と中・高連携の在り方
- 中・高校生徒指導の現状と課題
- 性格検査と親子関係診断検査
- 相談面接法——来談者中心療法をふまえて——
- 生徒指導体制と教師の共通理解

#### ③ 主な講師

- 福島大学教授 徳田安俊
- 筑波大学教授 真仁田昭
- 全日本家庭教育研究会主任講師 近藤政明

### (2) 高等学校生徒指導講座

#### ① 期日・人員等

ア 9月9日～9月12日  
イ 高等学校教員 24名

#### ② 主な内容

- 生徒指導の原理と方法
- 生徒理解の考え方と方法
- 非行の心理的特徴とその指導

#### ③ 主な講師

- 明治学院大学教授 神保信一
- 福島大学教授 徳田安俊

## 4 教育工学講座

### (1) 小学校教育工学講座

#### ① 期間・人員等

ア 第1次 7月29日～8月1日  
共通 6月3日～6月6日